

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域で守ります ～鎖川の清流を下流域へ～
事業主体 (連絡先)	朝日村 事務局：朝日村役場産業振興課林務担当 0263-99-2001 (代表)
事業区分	(5) 環境保全に関する事業
事業タイプ	ハード
総事業費	8,142,560 円 (うち支援金：5,000,000 円)

事業内容

- カラマツなどの河川内倒木処理 (9月～12月)
 - ・中俣沢 カラマツ他 220本
 - ・檜俣沢 カラマツ他 300本
 - ・外山沢 カラマツ他 150本
 - ・内山沢 カラマツ他 110本
- 河川愛護活動 (鎖川愛護会と連携) (鎖川の状況の周知を兼ねる)
 - ・河川地内の不要樹木の伐採・草取り (7月30日実施 参加者 70人参加)
 - ・ヤマメ釣り・つかみ取り大会実施 (8月15日実施 参加者 528人参加)
- 広報
 - ・村内回覧板に掲載し防災意識の高揚を図った
- 倒木利用
 - ・倒木の一部はクラフト体験館で薪ストーブに活用



【河川内倒木除去後の状況】

【目標・ねらい】

- ① 倒木撤去により住民不安の除去
- ② 河川愛護意識及び防災意識の向上

事業効果

- ・住民の二次災害に対する不安除去
鎖川上流の沢筋において雨水被害による倒木があり、沢の水をせき止め、決壊して倒木が流出するといった不安が住民に広がっていたが事業を実施することにより不安が解消された
- ・住民の河川愛護意識及び防災意識の向上
鎖川愛護会と連携し河川愛護活動を実施し、合わせて広報活動を行うことにより今まで以上に鎖川への愛着を抱き意識を向上させることが出来た。

※自己評価【A】

【理由】

本事業を実施したことにより、住民からの不安意見を聞くことがなくなり、より山林や河川に興味を抱いて頂く事が出来ました。

今後の取り組み

・事業を実施することで住民の意識向上が再認識する事が出来ました。引き続き鎖川河川愛護会と連携を取り、鎖川の整備や山林内の沢筋の整備を実施し広報していき河川、山林の大切さ、村民で守っているという意識を持ちながら、併せて下流域へきれいな水を提供している責務として継続して実施していきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある